

二〇一七



あ  
き  
ふ  
ゆ

季節がめぐる中

日本では変化を敏感に感じ

その移ろいに美意識を見出して

古来より様々な形で

愛でてきたのではないでしょうか

空の色　陽の光　風の様子など

さまざまに響き合い　心の移ろいも相まって

変化し、育まれ、ときの中で

日々交わりあうこと

二〇一七年　あきふゆ　では「移ろい」

をテーマに新しい変化も前向きにとらえ

穏やかな広い心や　自然観を感じさせてくれる

結城紬のショールが揃いました



# 真綿まとう シヨール 多色



52574-6CHVVD

回廊  
かいろう



52573-6CHPLE

澄み色

描くようになると  
そんな言葉が似合う  
シヨールが  
織りあがりました

今回は

ギャラリーを巡りたくなる  
伝統も新しさも感じられる  
「回廊」

光があることで色を感じる

そんなことを改めて

思わせてくれる「澄み色」  
をご紹介します

すっかり定番となつた

36 配色シヨール

主役になる巻き物を  
ぜひお手元にどうぞ

# 真綿まとうショール 多色

わたしたちをとりまく自然界の色の移ろいのように染め分けた12色のよこ糸を配しました

手にとった方が思い思いにイメージできる  
そんな自由で楽しいショールです

手で引いた太くやわらかな糸をふんだんに使い  
丁寧に手織りしました



52572-6CHBLU  
52571-6CHRED  
か  
げ  
ろ  
ふ  
【工房だより】

幅65cmのショールを織るための木製の高機

杼（シャトル）を投げ、足を踏みかえながら、一本一本よこ糸を入れ織り進めています  
心地よい機音が工房に響き渡ります



価格：四八,〇〇〇円（税別）  
大きさ（cm）：幅約65×長さ  
質量：約360グラム

真綿まとう

ショール

色無地

肌身離さず持ち歩きたい

アイテムは

出会つてすぐの

よそよそしい感じから

日常の自分の時間に

とけ込んで愛着がわきます

巻いたり、まとつたり、

膝にかけたりと

思うままに

体感していただきたい

からだが求める

心地よく上質なぬくもりを  
ご提案します

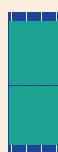


# 真綿まとうショール 色無地



52569-6PLTQS

碧  
空  
くう



52566-6PLBGE

わ  
た  
り



52570-6PLNVY

紺  
瑠  
璃



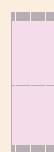
52568-6PLRED

秋  
菜  
萸



52567-6PLPNK

朝  
焼  
け



## 【工房だより】

やわらかく、ふわふわの太くつむいた糸を  
高機でやさしく織ることでこの風合いが  
生まれます

真綿糸の毛羽立ちを糊付けて抑え  
織り上げると糊を落として  
陽の光をたっぷりと浴び、天日干しする  
ことで風合いの良さがよみがえります



質量：  
約360グラム  
価格：  
四〇,〇〇〇円(税別)  
大きさ(cm)：  
幅約65×長さ

182

# ごちそう ショール



日本の美意識の一つ、わびさび  
茶道の世界や石庭などに見られ  
精神性を表しています

不足のなかに心の充足を見出そう  
とする意識「侘び」

経年変化によって新しい美が  
そこに備わった「寂び」

今年のごちそうショールでは  
色の豊かさだけでなく、  
内に秘めた素材そのものの豊かさを  
感じてみてください

# ごちそう シヨール



54375-4CHYEW



さ  
び

54374-4CHVVD



五  
感

54376-4CHWIN



わ  
び

価格：  
大きさ(cm)：幅約  
質量：約  
グラム  
45  
× 長さ  
140  
180

(税別)

【工房だより】  
結城紬は糸に色を染める「先染め」で  
織ることで柄があらわれ、表情の面白さ  
があり、うらおもてがありません  
本場結城紬の数件の紺屋（紺・藍を染めて  
いたことから今でも結城産地では染屋の  
ことを紺屋と呼んでいます）に対して  
結城紬の染めは一軒のみとなつた染屋が  
担います



【工房だより】

# 育てる ショール

無地

触れたときから

こころが安らぎ

絹のやさしい艶

とともに

手仕事のぬくもり

が伝わります

ときを経て使うほどに

その良さを増し

風合いが変化します

育てるよう

お楽しみください



育てる  
シヨール

無地

煉瓦

藍銅鉱

十月桜

55607-4PLYEW

55606-4PLPNK

55609-4PLBLE

55608-4PLTRA

稻  
黃  
金



【工房だより】

気持ちよく光が差す工房  
織るための明かりは北窓から取り入れます  
お嫁に来たときから織り続けている  
坂寄さんは着物の縫ものも織っている  
ペテランの織り手です

価格：一八,〇〇〇円（税別）  
質量：約110グラム  
大きさ（cm）：幅約45×長さ

175



# 育てるショール

ゆらぎ

遠くで見える月　彈ける木の実　小川のせせらぎ  
自然のエネルギーは力強くもあり　ここち良さをも  
感じさせてくれます

たてよこ異なる色によつて織られた布は  
光とともにゆらぎ　表情を変えます



育てる  
ショール

ゆらぎ

55610-4WCYEW

玉兎

55611-4WCPNK

果実

55612-4WCBLU

清流



「工房だより」

金属音が美しく鳴り響く機場では  
この網代織りを織るために素早く動く  
シャトルからどれくらい糸が残って  
いるかを瞬時に見分け管を替えていきます  
体に刻みこまれた動きはまるで  
織機と一体となっているようです

価格：  
110  
グラム  
大  
き  
さ  
：  
約  
45  
×  
長  
さ  
：  
幅約  
（cm）：

一八、〇〇〇円（税別）

175



# 一年中ショール



たたんだり広げたりすると  
光が透けて色が重なり合う  
まるで鳥が羽をまとう  
ように弾むいろどりを  
愉しめます

つかえбаつかうほどに  
さらりとしたその風合いは  
より柔らかく変化します

室内では冷房の風除け

屋外では紫外線対策など

一年中肌をやさしく

包み込んでくれます

小さくたたみ

バッグに入れても

かさばりません



55230-4CHORG  
イ  
ン  
コ

55231-4CHGRN  
孔  
雀  
羽

# 一年中 ショール

## 【工房だより】

たて糸が毛羽立ちによる糸切れを  
起こさぬように常に目を見張ります  
一般的に知られる自動織機というと  
8～10台ほどを一人見回るといった具合  
ですが結城紬の半自動力織機では  
1台に織り子がつききりで織り進めます



価格：一八,〇〇〇円（税別）  
大きさ（cm）：幅約45×長さ80  
質量：約80グラム



# 艶・色・温度を 楽しむショール

やわらかで心地よい

素材感と見る角度によつて

優しく光る輝き

古代より「希望の石」として  
愛されてきたオパールは

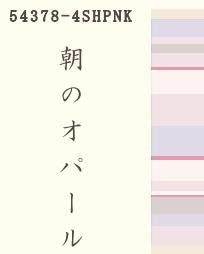
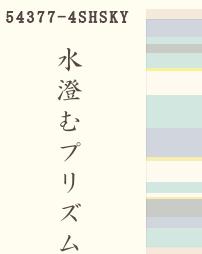
思考を柔軟にして、創造性を  
高めたり、幸運を呼び込んだり  
と価値のある石として珍重  
されています

その希望が芽生えてくる

イメージを布に重ねて

表現しました

# 艶・色・温度を 楽しむショール



## 【工房だより】

結城紬は他産地でも珍しく、真綿から糸をつむいだ真綿糸をたて糸、よこ糸に織り込み柔らかな風合いの良さを生んでいます。

石下結城紬では、真綿から動力を使い手で引き出した真綿糸に加え、生糸を絡めた糸など糸の太さ、糸の質感など数種類を組み合わせてものづくりをしていきます。

扱いが難しく繊細な糸を丁寧に扱いながら次の職人にバトンを渡していきます



価格：二四,〇〇〇円（税別）  
大きさ（cm）：幅約44×長さ80  
質量：約80グラム

44  
×  
長さ

170

# 風まと シヨール

雲は流れ、こもれびは

ゆらゆらとして

ほんのりと風が薫る

真綿の糸は不均一な

ゆらぎがあり、空気を含み

心地よい風をまとう感覚の

布に織り上がらました

たて糸よこ糸で織る前に

別々に染めるため、光の

当たり具合で色を変え

風合いの良さとともに

その表情を

お楽しみいただけます



# シヨールとまう風

53207-4STSAN

しなど

53208-4STDRLK

夜の川面  
かわも

53205-4STFLW

珊瑚  
さんご

53206-4STMNT

翡翠  
ひすい



## 【工房だより】

新しい素材を生むためには、これまでの確かな経験と、糸使い、織密度、打ち込みの加減などさまざまな角度から考え、試行錯誤によって出来上がります

触れたときの心地良さの中に、職人の思いや心いきが息づいています



質量：  
約65グラム  
価格：  
一八〇〇円  
大きさ(cm)：  
幅約45×長さ  
(税別)

# 風合いの良さの ヒミツ

1



この白くふわふわとしたものを手にすると  
まるで持っている感覚がなく

つぶれないようにと広げた両手はそのうちに  
ほのかなあたたかさに包れます。

顔の前に持ってくると、思わず漏れた  
ため息でそっとゆれ、

白く細く長い繊維が絡み合う「真綿」

結城紬はこの真綿が原料となり

風合いや趣向に合わせて数種の真綿糸を  
使い分けることによつて

新しいテクスチャーが生まれます。

軽くてあたたかく、心地良く、素朴で  
無垢な艶は真綿ならではのやさしさです。

# 風合いの良さの ヒミツ

2

肌心地がやわらかいのは、素材の良さだけではなく  
丁寧に手仕事で作られた、作り手のぬくもりが  
伝わるからかもしれません。

四〇以上ある工程は分業によるもので  
真綿のふっくらとしたやさしい素材から  
職人達が布に仕上げていきます。

織り子にバトンがわたるまでの仕事も多く  
色づけは糸の段階で染める「先染め」です。

織細な真綿糸に糊つけを行うこと、数回。

たて・よこ糸は織るための準備をそれぞれ行います。  
織る密度を加減しながら、織り子は付きつきりで  
糸の面倒を見ていきます。

真綿糸は織細なため扱いがとても難しく  
たてよこ両方に真綿糸で織られたものは  
織物産地の中でも珍しく、職人達の手技に  
支えられています。

従来の着物の生地づくりで培った技が  
ショールという新しい布づくりに応用され

熟練の作り手達にしか成し得ないものづくりが  
息づいています。



